

多摩ニュータウン再生プロジェクト第10回シンポジウム 躍動する多摩ニュータウンの未来～若い地域プレイヤーの芽生え～

市内で活動する方々をパネリストとしてお招きし、それぞれの取組を紹介していただくとともに、地域活動の広がりによる新たな可能性、多摩ニュータウンの未来についてアイデアをいただきます。

◇開催概要

- 日 時： 令和5年2月14日（火）午後1時30分～午後4時30分
開催方法： オンライン配信
定 員： 500名（先着順）参加費無料 ※午後1時15分頃より接続可能
内 容： 第1部「多摩市ニュータウン再生推進会議からの報告」
第2部 座談会「若い地域プレイヤーが描く多摩ニュータウンの未来」

1 多摩市ニュータウン再生推進会議からの報告

今年度の多摩市ニュータウン再生推進会議では、令和2年度から3か年検討を行い、今年度、市の行政計画・行政方針として策定した「愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等まちづくり計画」「南多摩尾根幹線沿道土地利用方針」の報告を中心に、ニュータウン再生の取組内容を報告いたします。

2 座談会「若い地域プレイヤーが描く多摩ニュータウンの未来」

今年度策定した「愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等まちづくり計画」では、地域プレイヤーを主役として、ハード面からソフト面まで様々な視点で再生に取り組むこととしています。

本座談会では、多摩ニュータウンで活躍している地域プレイヤーにお集まりいただき、それぞれの取組を紹介いただくとともに、プレイヤー同士の連携の可能性や、プレイヤー視点での新たな気づきに焦点を当てていきます。

《パネリスト》

・高野 義裕氏

2017年～2019年度実施の「多摩市若者会議」において、子育て世代が「多摩市にきたい、住みたい」と思える魅力を創出し発信の活動を実施。2019年に市の事業が終了した後、「多摩市若者会議」の活動を存続するために合同会社「M i c h i L a b」を設立し地域に根差した活動を実施中。

・青木 彬氏

アートを「よりよく生きるための術」と捉え、アーティストや企業、自治体と協同して様々なアートプロジェクトを企画している。多摩地域では、ニュータウンの遊休不動産を活用するアートプロジェクト「たまのニューテンポ」や市民との“交歓”をテーマにニュータウンの魅力を引き出す企画展示「Precious Situation」などを実施。

・深井 祐紘氏

明星大学建築学部建築学科助教であり、郊外住宅地の持続性やマンションの建替え等について研究を行う。研究室では、八王子市松が谷団地商店街跡地での活動など地域に入った活動を実施中。

・小野澤 裕子氏

2018年より「多摩ニュータウン再生推進会議 市民委員」として活躍。豊ヶ丘等市内の団地住戸のリノベーション設計を手がけ、高経年化する団地の新たな価値を提案。

・加藤 岳洋氏

2018年より「多摩ニュータウン再生推進会議 市民委員」として活躍。自身が居住する永山地域を活性化したいという思いから、多摩市永山のシンボルキャラクター「永どん」を生み出し、地域の魅力発信を行っている。

・高森 郁哉氏

2022年より「多摩ニュータウン再生推進会議 市民委員」として活躍。「多摩循環型エネルギー協会」の理事として活動し、多摩市の市民提案型補助金事業に「地域で進める地球温暖化対策」のテーマで多摩エネ協が提案し採択された「たま気候みらいプロジェクト」のリーダーを務める。



問い合わせ

都市整備部ニュータウン再生担当

電話 042-338-6959

FAX 042-337-7754